

令和元年9月29日開催審判講習会質疑応答ならびに注意点まとめ

Q 1 競技規則第15条ノーカウントに関して

(2)「審判員の判定の誤りでプレーが中断されたとき」

サービス側の選手がサーブを打ったが、レシーブ側の線審がアウトの判定でフラッグを挙げたがレシーブ側の選手が返球したので、線審はすぐ訂正ラインに変えた。サービス側の選手はフラッグが挙げたのでアウトと思いラリーを止めた。主審はインであるとして勝手にラリーを止めたと判断してレシーブ側のポイントとした。

この場合、ノーカウントにならないのか？

A、ノーカウントになります。

Q 2 審判がネット、支柱に触れていたとき、または支柱台拳がっていた場合に審判にボールが当たったときの判断は？

A、移動式の支柱の場合はそもそも支柱台に上がって審判をすることがNG、ネットや支柱に触れて審判をすることもNGですのでノーカウントにしてリプレー

Q 3 ラリーの途中でボールのバウンドが低いと審判にアピールして主審がタイムをかけ、バウンドを測定し30cmあった場合の判断は？

A、ノーカウントになります。

Q 4 バウンドが低いとアピールがあった場合、ラリーの途中でもタイムをかけて測定しなければならないのか？

Q 5 ボールの空気圧が少なくなり、選手から交換の要請があったが主審は測定し50cmくらいあるので交換は認めないとした。替わりのボールがあるのに拒否できるのか？

A、主審の判断になります。

Q 6 試合中にラケットが手から離れてニュートラルエリア内で隣のコートの仮想延長線内にいた選手にあたった場合、アウトにならないのか？

A、アウトになります。

Q 7 成績表の○×の記入欄へ○を書く場合、長丸を書くように言われたが？

A、OKです。

Q 8 線審の位置について

通常は主審、副審の左側に位置しますが競技規則審判員の注意点(10)において常に移動することがあるとありますが、二人とも同じサイドに位置しても構わないのか？

A、コート状況では可能です。その場合開会式等で競技委員長もしくは審判長がその旨を報告すること。

Q 9 選手の給水について

健康管理の面からも必要なことではあると思うが昨今の試合では給水が休憩になっているのではと思える場面が多い、見解は？

A、本来は休憩ではなく、水を飲む程度です。主審が判断して下さい。

Q10 オンラインの定義について

現状、ラインにビニール面が直接接触したときとされていますが審判員個人の判断に委ねられておりまちまちです。以前のようにボールの何%がラインに掛かっていればセーフとか。皆が納得できる定義付けはできないものでしょうか？

A、できません。現在はボールのスピードも速くなり、判定がむずかしい。審判がよく見て判断するしかありません。インの場合は大きな動作、アウトの場合は動作と大きな声で対処して下さい。

Q11 カットショットの時、ガットに擦られた音に続いて擦られた状態のまま更にラケットのフレームでカットを強くするプレーをした場合音が二度鳴ります。ボールが離れない状態でドリブルとされるかどうか？

A、選手から抗議があった場合審判四人で相談して判断して下さい。

Q12 審判をしていてライン付近の判定をアウトとしたけれど内心インだったと思ったが抗議がないのでそのままにした。次のサーブの前に訂正した方がよかったのかどうか？

A、そのままでもおしてOKです。「心の中でごめんなさい」

Q13 プレー中タイムオーバーとアウトが同時に思われた。副審がすぐにタイマーを止めてタイムオーバーのコールがないため主審がアウトにしました。選手は音に気づいていないようでした。副審の守備範囲であるコールがないので主審が判断したが、本来はどうあるべきか？

A、審判四人で相談して判断するべきでしょう。また副審はタイマーをすぐに止めないようにすることが大切です。

Q14 得点が入って、掲示したあとに抗議があった場合の得点掲示は？

A、そのままにしておく、審判の相談後に判定が変わった場合に訂正する。

<その他注意点>

- ① ラインズマンのフラッグの持ち方
フラッグの上の部分で二つ折りにして持ち、大きな音が出るように振ってイン、アウトの判定をして下さい。
- ② 線審のタイマー計時について
サービスしたボールがネットを超えた時点で計時から
サーバーが打球した時点で計時に変更
- ③ コートチェンジについて
ゲームオーバー時には速やかに小走りでコートチェンジするように主審は促して下さい
- ④ 主審、副審の足下には障害物を置かないようにする
- ⑤ SRカードの置く位置 ネットに引っかけたりしないようにして下さい

記載者 佐々木政人